



岩手県議会議員

高橋

やすゆき

県政  
レポート  
Vol.02

おもな内容

- 1P • ごあいさつ
- 2P • 新型コロナウイルス感染症への対応  
岩手県議会災害対策連絡本部  
岩手県議会自民党会派及び自民党岩手県連
- 3P • 9月定例会  
一般質問  
決算特別委員会  
• 文教常任委員会県内調査
- 4P • 環境問題・地球温暖化対策調査特別委員会  
• 東日本大震災津波復興特別委員会  
• 県議会議員連盟の現地調査  
• プロフィール

「まちづくり」～新型コロナ禍での議会活動～

新年あけましておめでとうございます。昨年7月22日から8月9日の日程で開催される予定であった東京オリンピック・パラリンピックが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、1年日程を延期し本年夏に開催される予定です。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済をはじめ社会全体に大きな影響を与え、人々の生活様式にまで大きく影響を与えております。令和2年2月定例会終了後、3月末に県政レポート第1号を発行してから早くも10か月が経過しました。新型コロナウイルス感染症が日本国内でも拡大しはじめ、4月7日には、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されました。これを受け、岩手県議会においても、4月20日、災害対策連絡本部を設置し、岩手県議会として知事への提言を行っております。

緊急事態宣言下で、人の移動が制限され、多人数での集いや会食等の自粛が始まりました。行政主催の行事は、中止や規模を縮小し、各種団体においては総会を書面決議への変更や各種懇談会・大会の中止、学校行事では来賓招待などして縮小開催などの対策をとっております。やむを得ないことはありませんが、私たち議員としても、様々な情報を頂く機会が少なくなっております。

議会活動も大きく変化いたしました。県政レポート第1号で紹介したように、2月までは先進事例等の県外視察調査活動を行っていましたが、4月以降は当初計画を中止し、政務調査活動は県内または隣県までとなっております。また、講師を招いての研修も、遠くの講師の場合はリモート開催とし、交流会や情報交換会も中止となっております。定例会をはじめ、委員会や各種の会議においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用や手指消毒はもちろんのこと、検温、発言席のシールドの他、定時の換気、長時間会議を避けるための発言時間の制限などの対策をとっております。

県政レポート第1号発行の後に、県政報告会を開催したいところでしたが、緊急事態宣言下で中止したまま、なかなか開催できずにおりました。8月になって、若干落ち着きが見え、8月30日に、西和賀町、湯田地区トレーニングセンターで初めての報告会を開催することができました。その後9月議会を迎え、2回目となる一般質問を行いました。当初、県政レポート第2号を12月に発行して、北上地区の県政報告会を計画しましたが、岩手県内で新型コロナウイルス感染者が急増し、年を越しての発行となってしまいました。

一刻も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願います。

皆様のご健勝をご祈念いたしますとともに

本年もご指導ご支援賜りますよう

よろしくお願ひ申し上げます。

高橋 やすゆき



Web サイト

皆様の声を反映させていただきますので、まちづくりや県政に対する要望などお気軽にお寄せください。

高橋やすゆきホームページ : <http://www.takahashi-yasuyuki.com/> E-mail : [yasuyuki.office@gmail.com](mailto:yasuyuki.office@gmail.com)

連絡先 : 〒024-0322

岩手県北上市和賀町岩崎新田旭ヶ丘 491-3 (TEL:0197-73-7264 FAX:0197-73-7260)

# 新型コロナウイルス感染症への対応

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、岩手県議会は4月20日、災害対策連絡本部会議を開催して、新型コロナウイルス感染症対策に関する提言を決定し、知事への要望を手交。12月21日には第4回岩手県議会災害対策連絡本部会議が開催されました。また、岩手県議会自民党派及び自民党岩手県連としては、3月1日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、県内各種団体や市町村の状況や要望を調査するとともに、県へ提案・要望活動を行ったほか、政府関係機関にも要望活動を行いました。

## 岩手県議会災害対策連絡本部

### ●4月20日 第1回 災害対策本部会議

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言を決定し、内容を議長から知事へ手交しました。

### ●5月19日 第2回 災害対策連絡本部会議

新型コロナウイルス感染症対策に係る対応状況について質疑が行われました。少しでも密を避けるため、会議場所を通常の特別委員会室から本会議場へ変更し、会議時間も長時間にならないよう、質問時間を会派ごとに割り振りました。自民党派としては28分の持ち時間の中、白澤勉議員と私が質問しました。

質問では、地方創生臨時交付金を活用した県事業に関して、「県内の産業構造や商工業の状況など、必要な事業は市町村により大きく異なるので、地域事情に合った経済対策事業を、県が支援するスキームを作ってはどうか」と提言しました。9月臨時議会の補正予算の中に市町村がそれぞれ独自の課題に取り組むことができる市町村振興費20億円が盛り込まれました。

### ●8月3日 第3回 災害対策連絡本部会議

7月末に県内初の感染者が確認され、県内の医療受け入れ態勢・PCRセンターの準備状況のほか、岩手県の対策等についての質疑が交わされました。

### ●12月21日 第4回 災害対策連絡本部会議

10月以降徐々に感染者が増えはじめ、11月以降クラスターの発生により感染者が急増して300人を超え、死亡者数も18人と、人口10万人当たりでは突出して高くなりました。このことから、医療機関や保健所の体制、医療従事者の確保などの質疑が多く出されました。

## 岩手県議会自民党派及び自民党岩手県連

### ●3月1日 災害対策本部立ち上げ

### ●3月10日 第1回 知事要望

電話やFAX・メールなどにより、県内各地の状況を調査し、取りまとめて知事への緊急要望を行いました。

### ●3月26日 第1回 コロナ対策団体訪問調査

2月定例県議会終了後、新型コロナウイルス対策の要望調査を実施しました。医療・商工・農林水産業・建設・福祉厚生・生活衛生・運輸・県市長会・町村会など24団体を、4班に分かれて訪問しました。

私は、26日に岩手県中小企業団体中央会と岩手県薬剤師会に訪問。翌27日は、自民党岩手県連会長の藤原崇衆議員議員と同行で、医師会、歯科医師会、看護連盟、商工会連合会、商工会議所連合会を訪問調査し、現場の抱える生の声を聞くことができました。



### ●4月16日 第2回 知事要望

県内団体の要望事項等を取りまとめ、2回目となる知事への要望を行いました。

### ●5月18日 コロナ対策緊急要望(省庁・党本部)

調査を通して頂いた要望事項をまとめ、緊急に必要な項目について要望書を取りまとめました。緊急要望は現状を鑑み、在京の藤原崇会長・高橋ひなこ副会長が、厚生労働省橋本岳副大臣、総務省齋藤洋明政務官、内閣府神田憲次政務官、党本部では鈴木俊一総務会長にそれぞれ要望を実施いたしました。

### ●5月18日 第2回 コロナ対策団体要望調査

前回ヒアリングから約2か月が経過した5月18日から25日にかけて新型コロナウイルス感染症対策要望に関する第2次集中ヒアリングを実施いたしました。

### ●6月1日 第3回 知事要望

3月末に引き続き、業界団体の皆様から現状と今後の課題について貴重な声を聞かせていただきました。

### ●6月1日 第3回 コロナ対策市町村要望調査

県内33市町村全てを訪問し、新型コロナウイルス感染症に関する要望調査を実施いたしました。今回の要望ヒアリングは密集を避けるために、5班に分かれて行い、私は、金ヶ崎町・西和賀町・北上市・花巻市を訪問しました。

各市町村からは、地方創生臨時交付金の増額と柔軟に活用できる制度とすることをはじめ、感染症対策として発熱外来の県内9医療圏での設置・運営に際し、県が主体的に支援をすることやPCR検査体制の充実、アルコール消毒液や防護服などの感染予防資材の早期確保などについて要望をいただきました。経済対策として持続化給付金の拡充や1次産業への支援の他、

1丁利用による教育環境整備のための予算支援についてもたくさん市の町村から要望を頂きました。

### ●6月11日 第3回 知事要望

医療供給体制の強化、地域経済対策、新たな生活様式による県民への影響対策、教育機会の確保と相談体制など、第2回団体要望調査及び市町村要望調査を取りまとめた内容を、要望書として提案しました。

### ●7月7日 コロナ対策緊急要望(省庁・党本部)

2回目となる省庁・党本部への要望は、岩手県議会自民党派から5名が各省庁や党本部を訪問し、大きく6項目28事項について直接要望しました。

### ●9月23日 市町村重点要望調査

昨年は全議員で県内33市町村を訪問して実施した市

町村重点要望調査を、今回は新型コロナウイルス感染症対策を考え2班に分かれて実施しました。コロナウイルス感染症対策を含めて199項目の要望を頂きました。

### ●10月23日 市町村要望事項の知事要望

コロナ対策を含む中央陳情を会派全員で実施、各県庁や党本部のほか内閣官房では菅総理大臣にも直接要望書を手交することができました。

### ●11月9日 中央陳情(省庁・内閣官房・党本部)

コロナ対策を含む中央陳情を会派全員で実施、各県庁や党本部のほか内閣官房では菅総理大臣にも直接要望書を手交することができました。



### ●11月11日 第3回 コロナ対策団体要望調査

11月に入って本県の感染者数が急増する中、第3回となる団体要望調査を前同様4班に分かれて実施しました。

### ●12月3日 コロナ対策団体要望に関する知事要望

### ●12月9日

コロナ対策緊急要望(省庁・党本部)

全国的にも感染拡大の状況から、会派を代表して5名で各省庁や党本部を訪問し、新型コロナウイルス対策に関する要望書を出して頂きました。

頑張るぞ!!



# 9月定例会



質問演台もコロナ対策で、アクリル板で囲まれています

9月定例会は、9月29日から10月27日までの29日間の会期で開催。令和元年度決算15件を審査したほか、令和2年度補正予算など39件の議案を審査しました。

## 一般質問

一昨年の9月定例会に続き2回目的一般質問をいたしました。今回の一般質問は、新型コロナウイルス感染症がもたらした社会の変化への対応を中心に、これからの県政課題について一問一答方式で質問しました。

### ● ウィズコロナ時代に対応したいわて県民計画（2019～2028）等の見直しをすべきでは

現在、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいるが、その収束は見通せず長期化が予測される。都市集中を是正し、地方分散の流れを加速するため、ウィズコロナ時代を見据え、いわて県民計画や第2期岩手県ふるさと振興総合戦略など、関連する計画を見直すべきではないか。

#### 【答弁】

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、分散型社会の重要性や地方の暮らしやすさが広く認識される契機となっており、感染防止対策をしっかりと行うことが地方創生にもつながるとの考えのもと、地方がより良くなっ

ていく政策の流れを作りたいと考えている。こうした方向性は、地方の暮らしやすさを起点とする政策を推進し、県民の幸福度を高めようとする県民計画や総合戦略と軌を一にするものである。このため、アクションプランに掲げる取組について、新型コロナウイルス感染症対策やこれに伴う社会経済情勢の変化などを踏まえ、新たな事業の追加や事業のブラッシュアップを進めていく。

● **テレワークによる移住・定住促進の取組み推進を**  
テレワークにより岩手へ移住を希望する人へのPRや県外企業の紹介、県外企業サテライトオフィスのような新たな雇用の場の創出を推進してはどうか。

#### 【答弁】

テレワークを希望する方や県外企業に対しての情報を、10月中旬に公表できるよう準備を進めている。また、モデル企業を選定しての試行や、テレワーク関連施設等の視察を行う予定である。サテライトオフィスについては、既に数か所実績があり、市町村等と連携し働きかけていく。

### ● 地域公共交通支援策の充実を

多くの市町村から要望が挙げられている「公共交通支援策」について、県ではどのように対応するか。

#### 【答弁】

高齢化や過疎化が進行する中、市町村が行う地取組を支援している。また、今年度から補助路線から転換した代替交通の確保維持に係る市町村負担への補助制度を創設した。国に対しても、バス路線維持のための要望をしていく。

### ● 高校教育の充実のための人的拡充を

小規模校を持つ市町村では、高等学校は地域を担う人材育成や地域の活性化にはなくてはならない存在であり、学校と地域が協力して魅力ある高校づくりに取り組んでいる。

- ① 1学年が2クラス以下の小規模校では、学習過程を充実させるためには、教員の加配が必要不可欠である。県における教員配置や加配の考え方は、
- ② 地域と学校がパートナーとなって共通目標に課題を設定して役割分担し、事業を組み立てるコーディネート役の人材支援を検討してはどうか。

#### 【答弁】

① 教員加配の配置先や人数については、各校の教育課

程の特色や教育課題等を考慮した上で決定しており、各校の実情に対応できるように、県立高校全体の定数の中で人事配置に努めている。また、国に対しても教員定数改善計画の策定と小規模校に係る教員配置基準の見直しについて要望を継続していく。

② コーディネーターは学校と地域をつなぐ重要な役割を担っており、地域学校協働活動の核となる存在である。県では、コーディネート向上を図るための研修の支援を行っている。また、今年度4月から県立学校にもコミュニティ・スクールの導入を進めており、本年4月には、西和賀高校が導入している。今後、順次県立学校に拡大していく予定としている。

### ● 北上金ヶ崎パシフィックルートの整備を

自動車や半導体関連産業が集積する北上市や金ヶ崎町から釜石港への物流の拡大が見込まれる。物流機能の相乗効果による県土全域の更なる発展のため、産業道路「北上金ヶ崎パシフィックルート」の整備をすべきでは。また、利用促進のための休憩施設を整備すべきでは。

#### 【答弁】

道路ネットワークのあり方につきましては、幅広く関係市町とも意見交換しながら、検討を進めていく。また、一般道の休憩施設については、道の駅の制度の活用も考えられるが、設置者が市町村等であるので、設置者から提案される構想等を踏まえて、適切に対応してまいりたい。

## 決算特別委員会

令和元年度決算の審査は、10月14日から、23日まで週休日を除き8日間会議を開催し審査しました。

部局別質疑では、ふるさと振興部、保健福祉部、生活環境部、商工労働部に対して、主に事業の成果に関して質問しました。この中で特に問題視したのは、人口減少対策として重要な「U・イーターンを推進する事業」の達成度がC評価であったこと、要因分析については、県では、「米中貿易摩擦や消費低迷などにより建設業や製造業、卸売業・小売業の新規求人数が減少するなど、増加を想定していた県内の有効求人数が減少に転じたこと」と分析しています。他県では様々



な努力と工夫で成果を上げている中、できない理由を外的要因とするようでは、効果的な次の政策が出ないことを取り上げ質問しました。

## 文教常任委員会県内調査

文教常任委員会では、令和元年12月の大槌高等学校魅力化プロジェクトに続き、昨年は葛巻高等学校の山村留学の取組、遠野緑峰高等学校の「新型コロナウイルス感染症対策」と学校の魅力化、高等学校再編で統合が検討されている水沢工業高等学校の「専門高校の産業教育」について調査しました。

特に、葛巻高等学校の山村留学の取組については、町営の寄宿舎の他に学習塾を設置し、学習の質の向上や特徴ある、そして魅力ある学校づくりが展開されており、本年度は県外から定員を超える応募があったそうです。

高等学校のほか、新型コロナウイルス感染症対策については、盛岡東支援学校、県民会館の取組、状況調査したほか、「ボルダリング新競技場」、「三陸BMXスタジアム」や「国立天文台水沢キャンパスの取組等について」など調査しました。



寄宿舎・町営学習塾は保護者にも好評

### 環境問題・地球温暖化対策 調査特別委員会

8月5日、「水産資源の生態と管理方策等について」東北大学大学院農学研究所教授、片山知史氏から講演をいただきました。サケやサンマなどの不漁が続いていますが、そもそもの海洋資源の特性から長年のデータの解析と温暖化の影響など、今後の水産業振興政策を考える上で貴重な講演でした。

9月2日、「グローバルな環境保全とヒト脳改善のための岩手発養蚕イノベーションについて」岩手大学名誉教授、鈴木幸一先生からの講演をいただきました。長年の研究成果がまもなく国際的な場で認められる見通しのようで、産学官連携の成果を知ると共に、拠点が北上市にもあることから今後の展開の可能性を感じました。



片山教授(上)と鈴木名誉教授(下)

### 東日本大震災 津波復興特別委員会



11月6日、東日本大震災津波復興特別委員会現地調査で久慈市を訪問しました。初めに「久慈ギンザケの養殖試験」について調査しました。3年間の試験で現在2年目、着実に成果を上げるとともに課題も明確になりつつありました。不漁続きの秋鮭に対応する

救世主として期待しています。次に「廃棄物由来のエタノール製造実証事業」について、事業の概要と現在の状況、これからの計画を説明いただきました。焼却ではなく、微生物の分解でゴミからエタノール製造する画期的システム。この施設は本稼働の10分の1の、日量20tの処理能力ですが、成功すると新しいゴミ処理方式として注目されるでしょう。

### 県議会議員連盟の現地調査

8月19日、世界遺産登録推進議員連盟で、世界遺産登録を目指す、北海道・北東北の縄文遺跡群の内、一戸町「御所野遺跡」と秋田県鹿角市「大湯環状列石」を視察。

8月20日、岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ現地研修会で一関市のスマート農業機械を導入した経緯と効果について、「環境保全型農業について」2か所を視察。



炎天下で環境保全型農業のレクチャー頂いた

11月5日、岩手県議会森林林業政策研究会の県内調査で、岩手林業アカデミーと花巻バイオマスエナジーを視察。11月11日、岩手県議会港湾議員連盟で、秋田県の港湾振興や秋田港クルーズスターミナル等を視察。11月17・18日、米穀園芸流通議員研究会の現地視察で、宮城県を訪問。初日は、山本東部地区での生産振興について視察。2日目は、宮城県東松島市、有限会社 アグリードなるせを視察。

### ◆編集後記◆

昨年3月、北上市議会議員選挙がありましたが、無投票となりました。市議会として開催した、「青年団体・女性団体・PTA・労働団体との意見交換」では、若い世代が議員に立候補しない理由の一番は、「議員・議会が何をしているかわからない。」でした。県議会でも無投票の選挙区が多数あります。しっかりと活動を伝え、政治に関心を持ってもらう事を心がけて活動して行きたいと思えます。

県政報告会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の動向を見ながら、何とか西和賀地区で8月に開催しました。また、気軽に政治やまちづくりについて話す場、関心を持ってもらう場として、9月に「まちづくり・政治カフェ」を試行しました。しかし、最近の感染拡大により、開催を見合わせております。

感染症の動向を見ながら、感染症対策としての開催や、webの活用などを検討します。ご意見・ご要望をお寄せください。



### 県政調査会で講演

8月5日、岩手県議会県政調査会の課題研究で、「タブレット端末を活用した議会運営」と題して発表しました。

北上市議会では平成29年度後半から本格運用しておりますが、岩手県議会では現在試行段階です。

テレワークやオンライン授業、リモート会議が話題となる中、導入されたタブレット端末の活用についての考察と今後の課題や展望について発表しました。

#### 本日の概要

1. 北上市議会の事例
  - ・導入の経過（及び導入システムの概要）
  - ・運用の実際（現在の状況と課題）
2. 岩手県議会での活用考察
  - (1) 現在の状況
  - (2) 会議運営システムの活用
  - (3) 情報伝達手段
  - (4) スケジュール管理
  - (5) 非常時の情報収集（議会BCP）



### 高橋やすゆきプロフィール

1961年：北上市和賀町に生まれる  
1980年：黒沢尻北高等学校卒業  
1984年：岩手大学工学部卒業

#### 主な経歴

- 北上市（和賀町）消防団（'86-'11）
- 北上市（和賀町）体育指導員（'89-'97）
- 北上市陸上競技協会理事（'95-'19）
- 北上青年会議所理事長（'99）
- いわてNPO-NETサポート理事（'00-'11）
- 北上市教育委員（'00-'04）
- 岩崎学童保育所運営委員会会長（'08-'15）
- 北上市PTA連合会会長（'09）
- 岩手県自動車整備振興会理事（'15-'16）
- 北上市議会議員（'04-'19（4期））
- 経済環境常任委員会副委員長
- 議会運営委員会委員長
- 総務常任委員会委員長
- 議会改革推進委員会委員長／市政調査会長
- 議長（'16-'19.6）

#### 現在

北上商工会議所議員（'06～）  
株式会社高征車輛 専務取締役・農業・簡易郵便局

#### 令和1年9月 岩手県議会議員初当選

常任委員会：文教常任委員会  
特別委員会：環境問題・地球温暖化対策調査特別委員会（副委員長）  
県政調査会（幹事）  
会 派：自民党（組織運動本部長）